

授業科目名： **企業の社会的責任論**
科目区分： 企業倫理・経営思想（応用）
必修・選択の別： 選択必修（経営人間学系）
配当年次： 1・2 年次
単位数： 1 単位（学習期間 1/2 学期）
担当教員： 斎藤 楨
オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。
（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

1. 授業の概要

企業の社会責任とは何か？本講義では「企業と社会」の関係の中で探り理解する。企業は様々なステークホルダーとの関係により存在し、最近のグローバル企業は、一国の政府と同等に大きな影響力を持つようになった。このような中、企業の活動は「社会化」、誤解を恐れず言うとしたら「NPO 化」してきている。その一方、「ビジネス化する NPO」の動きも無視できない。これらの背景は何か？この先にある動きは何か？企業の社会化、NPO のビジネス化の中間に位置づけられる「社会起業家」の存在も見つ、時代の潮流を総合的に理解する。

2. 学習目標

担当教員が日米で活動していることを踏まえ、グローバルな事例を中心に見る。受講生が企業の社会責任についての理解を深め、世界と企業、世界と自分のつながりを意識した生き方、働き方ができるようになることを目的としている。

3. 授業計画

第 1 章：世界と企業、世界と自分のつながりを考える

企業の社会責任について考えるとは、世界と企業、世界と自分のつながりを考えることだ。私たちを取り巻く状況を知ることによって自分の役割がおのずと見えてくるはずだ。世界は多くの紛争や対立の問題があり、難民に溢れている。環境問題も昨今特に大きく取りざたされている。日本における格差の問題も無視できない。個人の力は以前に比べ大きくなっている中、私たちは今、何ができるか改めて考えてみよう。

第 2 章：CSR を考える(環境編)

環境問題が現実のこととして表面化する中、企業も動き始めた。特にトヨタ、GE、ウォルマートなどの企業の動きは注目に値する。一方環境 NPO や国連の動きも興味深い。両者によるコラボレーションの可能性はあるのか。社会企業投資(SRI)の動きも世界的な CSR の盛り上げを促している。

第 3 章：CSR を考える(人権・社会編) ～人にやさしい社会、ビジネスとは～

この章では人権、社会の側面から CSR を考える。人に優しいビジネスとは何なのか？その答えとして挙げられているワークライフバランスやダイバシティへの取り組みは様々であり、中には企業価値を高めている企業もある。途上国における人にやさしいビジネスについても考えてみると、サプライチェーンマネジメントや BOP(Bottom of the Pyramid)の課題にたどり着く。

第 4 章：企業の NPO 化、NPO のビジネス化

昨今の CSR のトレンドとして、「企業の NPO 化、NPO のビジネス化」が進んでいるといえよう。この 2 つの動向を考える上で、ベンチャーフィランソピーやボランティアや NPO の存在は大きい。最後に紹介する絵本「花さき山」は私たちがどんなマインドセットをもって社会とのつながりを考えるべきか、大変示唆に飛んでいる。

第 5 章：社会起業家の台頭(社会をよくする中小企業)

CSR は主に大企業に向けられた言葉だ。中小企業と社会のつながりを考える上では、社会起業家の存在を考える必要が

ある。アイスクリームショップの「ベン&ジェリー」や医療革命を起こしたパッチアダムスやクリントン元大統領やビルゲイツのプロジェクトは注目に値する。この章では日本における社会起業家のインパクトについても見ていく。

第6章：CSR 経営・CSR マーケティング

CSR を経営課題として取り入れている企業は、そのマーケティング戦略においても社会課題の解決を考える傾向にある。ウォルマート、スターバックス、パタゴニアなどは先進企業といえよう。今では当たり前になった乳がん撲滅キャンペーンのピンクリボン是最も成功しているソーシャル・マーケティングの事例の1つだ。

第7章：緑の都市カリフォルニア州サンタモニカ市そして東日本大震災後の被災地からの学び

最後の章は、街あげてCSRに取り組んでいるサンタモニカ市そして、東日本大震災で影響を受けた東北の先進的な動向に注目する。ここでのキーワードは、ギフトエコノミー。これはマネーエコノミーに象徴される「奪い合う経済」ではなく、絆、優しさ、クリエイティビティを大切にする「与え合う経済」という意味。ギフトエコノミーを提唱するアメリカのイベントバーニングマンについても見ていく。

4. 受講上の留意点

大学の既定のスケジュール通りに遅延なく受講してください。

5. 成績評価基準

出席率(20%)+期末レポート(50%)+小テスト(30%)

6. 必読書籍

斎藤槇 著「社会起業家～社会責任ビジネスの新しい潮流」(岩波新書)2004年

斎藤槇 著「被災地から日本をよくする100の方法～ギフト・エコノミーの幕開け」(NHK出版の電子書籍)2015年

7. 参考書籍

特にありません。

8. その他

特にありません。